

私たちは、【葛飾】＝【しあわせなまち】という
ぶっぴんどイメージを価値のno1にして、
葛飾の地域ぶっぴんど価値を向上させます。



あなたは、葛飾とって何をイメージしますか？

葛飾といえば、映画「男はつらいよ」の寅さんや漫画「こち亀」の両さん、漫画「キャプテン翼」など、映画や漫画の舞台として全国的に有名なまちです。ゆるキャラブームと言われ、毎年多くのご当地キャラクターが生まれていくこの時代に、多くの人に何年も愛されているキャラクターが存在する葛飾は、全国的にも珍しいのではないのでしょうか。

その中でも私たちは、葛飾柴又が舞台の「男はつらいよ」の寅さんに注目しています。寅さんが私たちに伝えたかったメッセージとはなんなのでしょうか？

山田洋次監督はこのように言っています。

映画「男はつらいよ」は、あえて登場人物の血のつながりをなるべく薄くした。「ただ血がつながっているだけでは家族とは言えない。様々な事情を乗り越え人間関係を築いていくことで温かい家族になれる。」(平成25年4月27日朝日新聞より)

映画の中で寅さんは、旅先で商い(ビジネス)をしながらたくさんの人と出会い、それぞれのまちで、そして故郷葛飾で、しあわせとは何かメッセージを残します。

そんな寅さんの姿から私たちは、「葛飾しあわせなまち」というブランドを起ち上げました。

私たちは、寅さんをさらに有名にすることが葛飾のブランド価値向上につながると思います。

未来のまちづくりを担っていく私たちにとって大切なのは、寅さんそのものではなく、寅さんが映画で伝えたかったメッセージを活かすことではないかと考えます。

私たちはここに注目し、現代の寅さんとしてさまざまなビジネス活動を通して、多くの人との出会いの中から【しあわせなまち】とは何か一緒に考えたい。

それが、【葛飾しあわせなまちプロジェクト】です。

私たちはこれまで都庁でのプレゼンテーション活動やソーシャルネットワークサービスFacebookの運営。さらに北海道から実際に商品を仕入れ、販売活動も行ってきました。

このような活動から【しあわせなまち】とは何か考えることで、あらためて自分たちのまちの良さをもっと知りたい。そして、世の中をもっと身近に感じ、責任感をもった大人として成長することを目指しています。

「しあわせなまち」とはいったい何でしょうか？

プロジェクトのメンバーの一人はこう言っています。

「モノに恵まれ、手軽な便利さを追求した結果、自分のまちがすばらしいと満足しているとしたら、それこそがしあわせなまちから一番遠いまちになっているのかもしれない。」

私たちは、全国の人々と葛飾を結び、出会いの中から

【しあわせなまち】とは何か学んでいきたい。

どうかこのプロジェクトに

あなたの力を貸していただけませんか？



葛飾しあわせなまちプロジェクト
東京都立葛飾商業高等学校

情報処理科 3年生